

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

滋賀県

行事名称	第62回文化財防火デーに伴う消防訓練
実施期間・日時	平成28年1月24日（日）8：30～9：10
実施場所	興聖寺（高島市朽木岩瀬）
主催者	高島市消防本部、高島市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

平成28年1月24日午前8時30分頃、高島市朽木岩瀬 興聖寺付近の林野から出火しているのを付近住民が発見、消防本部に119番通報を行った。消火活動を行うものの火勢が強く、興聖寺へも火の粉が飛んできており、延焼する恐れがある。

訓練の内容

岩瀬区住民が火災を発見、119番訓練通報。住職と住民が協力して重要文化財の搬出、消火器での初期消火、バケツリレーの訓練。自警団による可搬ポンプでの放水訓練。市消防本部は指揮本部の設置および放水訓練。市消防団朽木分団は待機場所からの出動、中継送水および放水訓練。訓練終了後に閉会式が行われ、住職、岩瀬区長、文化財課長（教育長代理）挨拶ならびに消防団長による講評が行われた。

参加者及び役割分担

興聖寺住職	1名：重要文化財の搬出、バケツリレーによる消火活動
岩瀬区住民	8名：訓練通報、重要文化財の搬出、消火器での初期消火、バケツリレーによる消火活動
自警団	8名：興聖寺前の防火水槽に配置して可搬ポンプで放水
市消防本部	16名：火災現場直近に指揮本部を設置して全体を把握。消防車は興聖寺前の防火水槽配置して放水
市消防団朽木分団	25名：通信指令課からの要請を受けて待機場所から出動。1台は興聖寺入り口付近に配置して放水、もう1台は防火水槽へ配置して中継送水および放水
市教育委員会	2名：現場立ち会い

特に工夫した点

- ・重要文化財彫刻に見立てたマネキンを使用して搬出訓練を行った
- ・境内にある池を利用してバケツリレーによる消火活動訓練を行った
- ・現場から離れた地点にある防火水槽から取水することを想定し、中継送水による放水訓練を行った

問題点・課題

- ・今回は付近の住民や参拝客の避難訓練は行われなかった

その他

毎年文化財防火デーに合わせて消防訓練を行い、地元住民や地域の消防団に参加してもらうことで文化財愛護の意識を高め、防災の必要性を確認してもらう機会としている。また文化財防火デー・訓練のお知らせと訓練実施後の報告を市の広報に掲載している。今後も継続して実施し、市民に向けて発信していくことが重要である。

訓練風景



文化財の搬出



バケツリレー



放水